

西野、大谷、深淵地区 『人・農地プラン』

1

令和3年3月17日
香南市農林水産課

西野・大谷・深淵地区の人と農地の課題

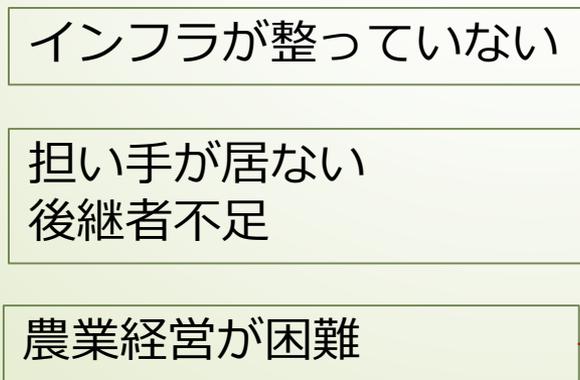
2

- グループワークを通じて下記が課題であることを確認した。
(R2.12.8)

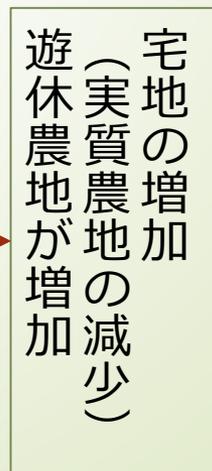
集落	課題
西野	インフラ（農道/水路）が整っていない コストが高いため農業経営難 担い手が居なく、農地が遊休化していく 農業振興の情報がとどかない
大谷	後継者不足 宅地化による農地減少及び農作業に影響
深淵	一部の地域ではインフラが整っていない

- これらを原因/結果の形で表現すると次のイメージとなる。

<原因>



<結果>



課題対応方針/施策

3

■方針（基本的な考え方）

・西野/大谷/深淵地区は、遊休地/宅地が増加の状況にあるため、下記施策を通じて、現状の耕作地を農地として維持することを目指す。

■施策（R3年度の取組み）

- 1.地区の農業インフラ（特に水路）の改善
整備の対象箇所の洗い出しなど、整備計画検討に着手する。【地区農業者/建設課】
- 2.農業のノウハウ取得
低コスト、高収益農業など、農業経営の向上に向けた研修会の開催を依頼し、受講してノウハウを理解する。【地区農業者/県農業振興部、JA、大学、他】
- 3.農業関係情報を受ける仕組みづくり
農業補助金や農地貸し借りに関する情報を受け取りやすくする仕組みを作り、新規就農者の経営負担を下げることに繋がったり、農地貸借りの活発化を目指す。【地区農業者/農林水産課、農業委員会、県農業公社】

以下は、プラン原案策定のための
参照資料です。

1. 地区会合の グループワーク 発表内容① (12/8)

5

■ 課題

(西野) 地区は インフラ(農道・水路)の改修 が

課題です。

■ 課題とした理由/背景 (〇〇の状況があるので)

- ・南北の道はあるが、横の道の整備が不十分。
- ・道幅がせまい。曲がっている。

■ 課題

(西野) 地区は インフラ整備(水路農道)

課題です。

担い手の確保
情報がほしい

■ 課題とした理由/背景 (〇〇の状況があるので)

- ・インフラ整備をしないと使えない
- ・担い手がいなく → 遊休化していく
- ・情報がほしい → 補助事業、新規就農

- ・機械代が高い、ハブスの修理費用が高い。空回り費用も高いため。
- ・トラクター遊休化で修理費用も高い(年間10万円程度)。5年ほどは機械はかかるとして、10年ほどは廃棄。修理費が高い。
- ・水不足問題、整備の問題。

- ・~~新しい人が入りにくい~~ 農機
- ・農機が高価で新しい人が入りにくい。
- ・水不足のインフラ

1. 地区会合の
グループワーク
発表内容② (12/8)

6

■ 課題

(大谷) 地区は 後継者不足と宅地化 が
課題です。

■ 課題とした理由/背景 (〇〇の状況があるので)

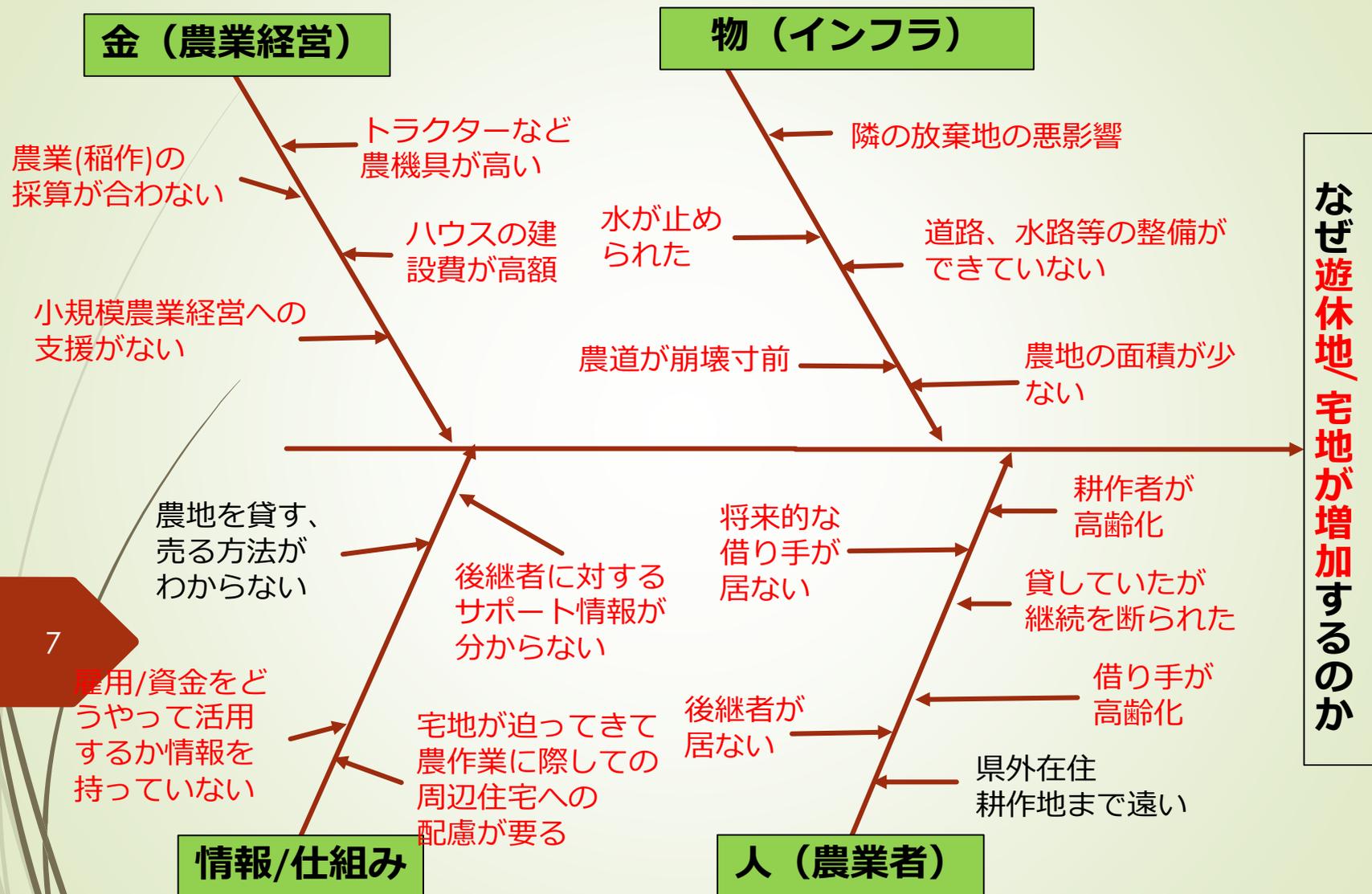
- ・ 後継者不足
- ・ 宅地化が進んで、農地が減っている
- ・ 住宅地への配慮が必要になるため農業がやりづらくなっている

■ 課題

(深淵殿) 地区は インフラ整備
の一部地域
課題です。

2. 課題につながる要因の分析

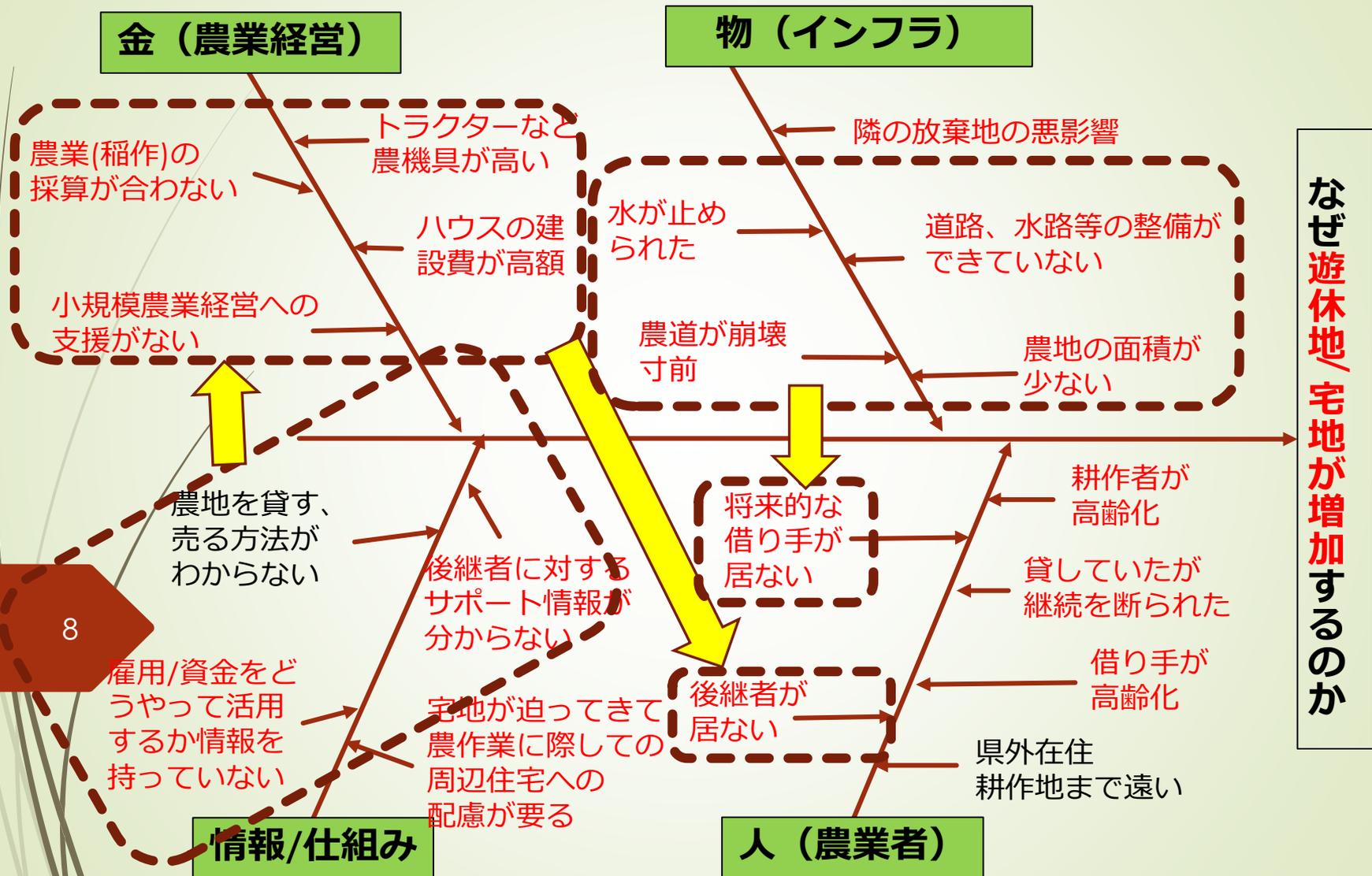
■ 結果に至る要因を人、モノ、カネ、情報の4要因に分解



7

3. 要因間の関係性

■ 要因間の関係性を俯瞰



8

4. 西野/大谷/深淵地区の人と農地の課題と背景まとめ

■ 課題

西野/大谷/深淵地区は、遊休地や宅地の増加が課題です。

■ 課題とした理由/背景

